

まちづくり活動支援事業補助金が決定しました！

— 第2次応募締切は8月12日 —

積丹町まちづくり活動支援基金により助成支援を行う初めての事業選定委員会が開催され、5事業に総額262万円の補助金の交付が決定されました。

交付決定事業及び交付決定額

・地域づくり支援事業（ソフト系事業）

（円）

	事業名 (申請団体名)	事業概要	補助金要望額 (交付決定額)
1	地域景観形成事業 (美国商店連盟)	国道229号(美国町)の街路灯に設置されているペナントフラグの更新により観光客のおもてなし、地域景観の整備を行う。	494,000 (494,000)
2	積丹町美国フードフェスティバル2011 (美国旅館組合)	名物料理の開発と地産地消・食育の推進をベースとした観光振興のためのイベント開催。	600,000 (600,000)
3	土産品開発事業 (積丹観光協会)	積丹観光協会が販売している「どっこいまんじゅう」の土産品としての定着化、販売促進のためパッケージを作成。	600,000 (600,000)
4	森から川、そして海まで響け積丹オープンLiveMusic Festival in irika (Music Festival in irika 開催準備委員会)	入舸町を会場に、積丹町を若い力で元気にするための音楽イベントの開催。	600,000 (600,000)
5	岬の市場マーケティング向上事業 (積丹町地場産品販売促進協議会)	「岬の市場」への誘導案内看板の整備と、他町村の「道の駅」の視察。	329,000 (329,000)

【第1次は6団体が応募】

地域資源や地域特性、生活環境や伝統文化を生かした、町民の皆さんによる主体的・自主的なまちづくり活動を支援する目的で創設された、「積丹町まちづくり活動支援基金補助金」の事業募集は、今年度の第1次締切日の5月25日までに、地域づくり支援事業（ソフト系）5事業、まちづくり支援事業（ハード系）1事業の応募がありました。

【事業選定委員会の開催】

応募のあった事業について補助金交付の適否を審議する、まちづくり活動支援事業選定委員会（飯田隆委員長）は、6月1日開催され、応募のあった6団体の代表者等から事業計画内容の説明を受け、選定事業の審議を行いました。その結果、「地域づくり支援事業5事業について補助すべき。」と決定し、町長に対し答申が行われました。

町ではこの答申を受けて補助の交付決定をし、6月8日付で、5団体の代表者に対し、補助金交付決定書を手交しました。



積丹町まちづくり活動支援事業選定委員会委員

(敬称略)

役職	氏名	住所	付記
委員長	飯田 隆	美国町	
委員長代理	土井 清輝	野塚町	
委員	佐藤 盛男	入舸町	
〃	山崎 美枝子	美国町	
〃	佐藤 華江子	来岸町	
〃	河西 邦人	札幌市	札幌学院大学 経営学部教授
〃	中田 知生	札幌市	北星学園大学 社会福祉学部准教授

(任期 平成23年3月30日から3年間)

【活動事業募集中！】

今年度は、来る8月12日まで第2次募集を受け付けています。

地域の活性化や課題解決のために、地域の皆さんがあくまでも主体的自主的に行う活動を支援する補助金です。

役場の各担当職員も皆さんと一緒に考えますので、まずは、お気軽に相談してください。

お問い合わせは

役場企画課、又は、役場の応募検討事業の内容を担当している課や委員会。

～協働のまちづくり～

ひろがる地域の ボランティア活動



5/20 彩り鮮やかな花で歓迎

町商工会女性部（葛西幸子部長）は、町を訪れる観光客らを花で歓迎しようと、美国町国道沿いの花壇に部員7人でペコニアやマリーゴールド、ペチュニアなど300株を用意し、苗の植え付けを行いました。



5/22 きれいな漁港に

東しゃこたん漁協積丹地区女性部（柏崎禮子部長）は、日司漁港の清掃活動を行いました。この日は、同日司支部の部員22人が参加し、漁港内に散乱する空き缶やペットボトル、発砲スチロールなど、さまざまなゴミを分別しながら拾い集め、約1時間の清掃活動に汗を流し、2トントラックにいっぱいのゴミを回収しました。



5/21 道路清掃・花壇には花

余別自治会（井端順司会長）は、町道の清掃と花壇の花植えを行いました。当日は、小雨が降るあいにくの天気となりましたが、余別トンネルの工事を行っている(株)長組の作業員3人が応援に加わり、総勢28人が参加。大小7区画の花壇にマリーゴールドや金魚草など、540株の苗を植えたほか、町道の雑草やゴミを取り除きました。



5/28 地域総動員で

野塚町内会（白木幹勝会長）、野塚婦人会（佐藤弘美会長）、野塚悠ゆう会（荻野正会長）では、合同で同町内の桜並木通りや公園の草刈り、克雪センターの清掃活動を行いました。約45人の参加者は、自前の草刈機や鎌を持ち寄り、地域総動員での清掃活動が行われました。



5/22 美国漁港花壇に植栽

美国漁港利用協議会（八戸良一会長）は、東しゃこたん漁協美国地区女性部（佐藤恵子部長）の協力を得て、美国漁港内に4カ所ある花壇（ゴミ処理施設跡地）にサルビアやペチュニア、サフニア計300株を植えました。参加した同女性部3人は、「きれいな花で漁港利用者の心を和ませることができれば。」と一株一株丁寧に植え付けていました。



6/7 きれいな街でお出迎え

町商工会（山本俊三会長）は、美国町の国道229号線の清掃活動を行いました。

この活動は、6月10日の「商工会の日」に合わせ、毎年6月に行っているもので、会員18人と同職員3人が参加し、ほうきやちり取り、ごみ袋を持ちながら、清掃作業に汗を流しました。



6/1 出来ることから

美国婦人会（戸来和子会長）は、毎月1日に開催される同役員会終了後に、町総合文化センターのトイレや階段などの清掃を行っています。これは、同会が日頃からセンターを利用する機会が多いことから、「自分たちに出来ることがあれば」と、平成19年から清掃奉仕活動を行っているもので、この日は13人が参加しました。

永年にわたり、北方領土返還運動に積極的に取り組んだとして、荻野正さん（野塚町）に、（社）北方領土復帰期成同盟（堀達也会長）から感謝状が贈られ、6月2日、俱知安町で藤田清司同後志支部長から記念品とともに伝達されました。



られています。

北方領土返還協力員

荻野 正 さん（野塚町）

社団法人北方領土復帰期成同盟より感謝状

荻野さんは、平成12年から同協力員として返還署名活動など10年以上にわたり、活動を続け

黄金岬にも看板・募金箱を設置

安全できれいな環境に・・・

6月15日、町内の産業団体で構成する町自然環境保全協議会（佐藤勝次会長）は、「自然環境保全協力金」を呼びかける看板と募金箱を、黄金岬遊歩道入口に設置しました。



岬に続いて3カ所目となります。昨年度、神威岬と積丹岬の募金箱に寄せられた協力金は、総額127万円です。平成19年7月に神威岬に設置して以来、4年間の累計金額は472万円に達しています。

これらの協力金は、遊歩道の防護柵や階段の補修、公衆トイレの改修費用のほか、環境保全のための啓発看板などの費用に充て

られ、町を訪れる多くの観光客と一緒に安全できれいな環境の保全に役立てられています。



「自然環境保全協力金」により補修された旨のプレートが貼られています。

協力金で補修された▶神威岬の防護柵

北海道からの派遣職員を紹介します。



税務課長
おおにし ようじ
大西 陽司 48歳
(北海道総務部税務課)

6月から町税務課長として勤務しております。重責ですが、皆さんに助けをいただきながら頑張っております。今はまだ落ち着いておりませんが、今後、積丹の自然と海の幸を存分に楽しみたいと思っています。